

# ガンコ親父の

昔々の話、この世の全ての生き物には神様と同じように「寿命」が無かった。死ぬことがないのでついダラダラと過ごすことになるが、そんな毎日では進歩がない。神様は生きる時間に制限をつけることで、それぞれが大切にその一生を全うしてくれることを期待し、「寿命」を決めてしまおうと思った。それに、神様は不死という絶対能力を持つのは自分だけの方が色々都合も良かったのだ。

海の生き物は十年、空の生き物には二十年と寿命の長さを定めた。海と空の生き物は神様に従順で、文句を言ってくるものはなかった。さて、厄介なのが陸上の生き物だった。頭がいいのか、はたまた欲が深いのかよく分からないが、とにかく自己主張が強い。神様はそれを見越して、陸上の生き物には特別に三十年という長い寿命を与えてやったのだった。

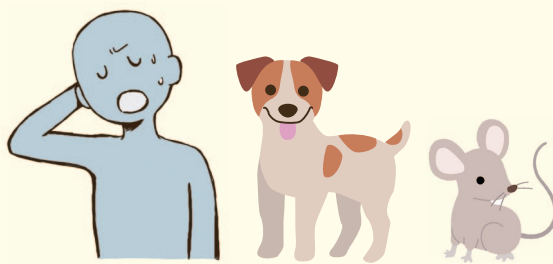
それなのに十二支では順序を一番にしてあげている「ネズミ」がまず抗議をしてきた。毎日毎日、猫に追いかけられてヘトヘトになっているのに、三十年も生きていく自信がありませんと、真剣に訴えてきたのだ。「猫族を絶滅させてくれたら三十年でも問題はないんでチュウ」とネズミは言ったが、神様はそれは出来ないと言った。

しかし、ネズミの身になって考えるとそれも可哀想だ。思い切って寿命を三年にしてあげた。十二支では十一番目という順番が面白くないと、常々不満に思っていた「イヌ」がこぞとばかりにワンワンと苦情を言ってきた。「僕たちは人間のために寝ずに番をしていることにもう疲れた。猫のように寝てばかりの動物とは違う。三十年も生きるの辛いので、もっと寿命を短くして欲しい」と。神様はイヌの要望を聞き入れて寿命を十年にしてあげた。

最後に欲深い人間が要望を言ってきた。「神様、私はもっと長生きして、子供達と楽しく暮らしたい。いや、できれば孫たちとも長く幸せに過ごしたい」と結構大胆な寿命延長を申し入れた。神様は「やれやれワガママな生き物だな」とため息をつきながら対応してあげた。手元にネズミの二十七分分と犬の二十年分の削った寿命があったので、全部追加してあげたら人間の寿命は七十七年となった。ネズミと犬は短くなった寿命に満足したが、人間は寿命を伸ばしてもらったおかげで、会社ではこれまでより長く上司からのイジメにあい、さらに老後も引退できずに、疲れ果てても仕事を辞めるわけにはいかなかった。

疲れた顔の人間がなんと増えたことか。神様は生き物の寿命決めが完璧ではなかったことを悟った。しかし良く目を凝らしてみると、歳をとっても前向きに元気に生きている人間もいた。松次郎だった。神様はその元気の秘密を探るため定点観察をした。なんと松次郎は『しまっちゅ伝蔵』を毎晩楽しく飲んでいたので。

寿命の長さは大切だが、楽しく生きることこそが重要だと、観察結果を見て神様は思い直し始めたのだった。



奄美黒糖焼酎  
常圧蒸留  
でん ぞう  
伝蔵

## 昔ながらの手造り こだわり焼酎

喜界島の豊かな大地の恵と豊かな自然の中で、永年の伝統に受け継がれた製法でじっくりと醸しあげた「しまっちゅ伝蔵」黒糖焼酎の味を全面に出し昔ながらのkokoroのある味と香りです。



900ml (25%) 1800ml (25%) 1800ml (25%)



25度  
好評発売中



喜界島酒造株式会社  
鹿児島県大島郡喜界町赤連2966番地12  
☎0997(65)0251



the most beautiful  
villages in japan  
喜界町  
鹿児島県

# 「寿命」に乾杯!!

<http://www.kurochu.jp>

お酒は20歳になってから。お酒は楽しく適量を。飲酒運転は法律で禁止されています。妊娠中や授乳期の飲酒はお控えください。